

飯山精器株式会社

■平成24年度テーマ

切削加工での最新ITを活用したシステム開発による生産性向上や売上拡大

■平成24年度概要

部品加工で売上げを伸ばし利益を確保するためには、多品種少量生産において生産性と顧客満足度アップが課題である。そこでITを駆使して工程組込（工程手順、機械、部材、人の割当て）や稼働管理（機械の稼働状況をリアルタイムに監視・管理）を行い生産性を上げたり、品質向上や生産情報開示を行い顧客満足度を上げることで、売上拡大と利益確保を目指す。

■平成24年度分類

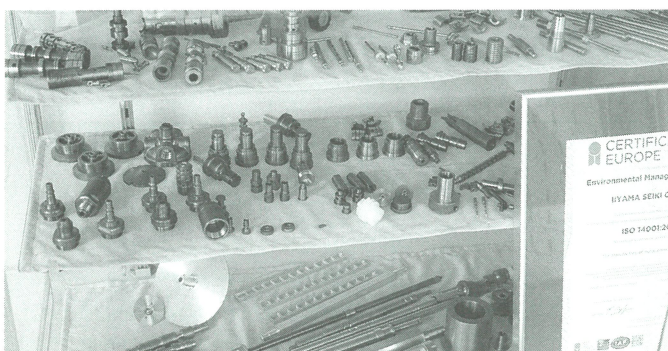
＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化型

＜22分野技術＞ 切削加工

■事業の概要と成果

多品種少量生産での生産性向上、顧客へのサービス向上を目的としてITを活用して工程組み込みから稼働監視まで行えるシステムを構築した。それにより品質・生産性がさらに向上し、売上拡大、利益確保に繋がった。



■平成25年度テーマ

CAMとCNC三次元測定機導入による複合加工の高効率生産で受注を拡大する

■平成25年度概要

CAMとCNC三次元測定機の導入により、複雑で高精度なズームレンズのカム環の短納期、高精度、高信頼性での生産体制が構築できる。これにより新規及び従来顧客からの受注拡大を目指す。

■平成25年度分類

＜対象類型＞ 【ものづくり技術】

測定計測

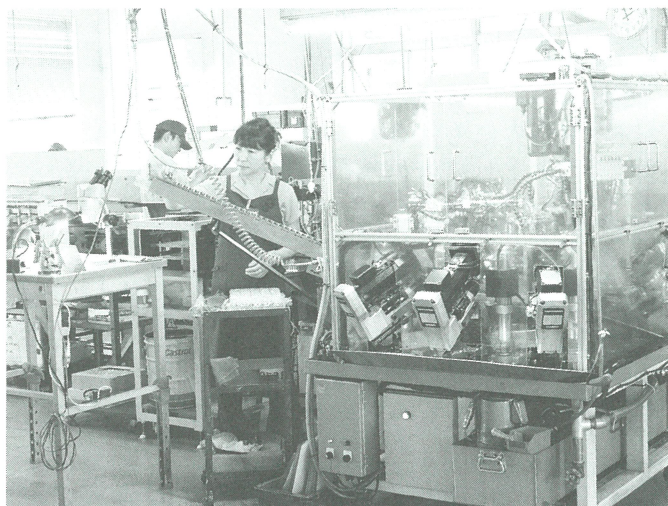
精密加工

＜事業類型＞ 一般型

設備投資のみ

■事業の概要と成果

CAM(computer aided manufacturin)とCNC三次元測定機を新規導入し、複雑で高精度なズームレンズのカム環の短納期、高精度、高信頼性での生産体制を構築した。それにより新規顧客及び従来からの顧客の受注増加が見込まれる。また、三次元測定機の導入は弊社のような丸物切削加工を行う業種では稀で、品質に対する弊社の姿勢が高評価に繋がるものと考えている。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

飯山精器株式会社（中野市）

独自の生産管理システムで効率的なものづくり。
丸物・難削材の高精度加工でベトナムにも進出。

多品種少量・短納期・高精度へシフト

油圧機器部品、特殊ネジ、各種シャフトなど「丸物」部品加工のエキスパートであり、難削材の高精度加工を得意とする飯山精器。1個から数千個まで小・中ロットのオーダーに対応し、医療機器や産業用機器の部品加工も手がけています。



三次元測定機を導入し、カメラ部品の高精度加工に進出

同社は飯山市で創業後、大手メーカー工場からのリレー、コネクタなどの受注を中心に成長。高度成長の波に乗り、一時は4工場を展開しました。しかし、1998年頃から大手メーカーの海外生産移転が進み、受注量が激減。やむなく社員の大幅なリストラを断行し現在地に生産を集約するとともに、受注形態を量産品から多品種少量・短納期・高精度へとシフトして生き残りを図ってきました。

寺坂唯史社長は苦しい時代を乗り越え、現在は新たな事業にも積極的にチャレンジしています。「かつて大手メーカー数社からの受注がほとんどを占めていましたが、現在は地元中堅メーカーをはじめ多くの顧客から受注。製造品も建機、農機などの油圧バルブの内蔵部品から、精密機器、医療機器などバラエティに富んでいます」。

3年前には得意先のベトナム進出を受けて現地工場を建設。ベトナム人研修生の積極採用など人材活用も含め、ベトナムというキーワードでいろいろなビジネスを展開していきたいと考えています。

独自の生産管理システムを開発

多品種少量、短納期の生産に対応し、材料も多種多様となれば、それを管理する十分な体制が必要となります。当然、管理部門の人員増も考えなければなりません。しかし、寺坂社長はシステム化による解決を考え、平成24年度ものづくり補助金を活用し独自の生産管理システムを開発しました。

これは、iPad miniを入力端末に使い、QRコー

ドで情報を読み取り、図面管理や進捗状況をリアルタイムに共有するシステム。同時に在庫状況も分かり、あらためて棚卸しなどの必要もありません。またNCマシンの稼働状況がリアルタイムで把握できるため、機械トラブルによる納期遅れなども未然に防ぐことができます。寺坂社長は「このシステムにより間接要員の負荷をかなり軽減できました」と喜び、最終的には原価管理ができるシステムに進化させていきたいと考えています。

一方、同社は平成25年度補助金を活用して三次元測定機を導入し、カメラのズームレンズの鏡筒部品という新たな分野に進出。海外の展示会で評価され、ベトナムの日系企業、国内のメーカーから引き合いがきています。

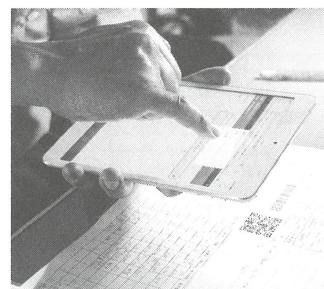
「日本で立ち上げ、ベトナムで量産、というのができており、高精度への要求は厳しいです



本所で活躍するベトナム人研修生

が、油圧以外のもうひとつの柱として積極的に動き、投資も行っていきたいと考えています」

寺坂社長のベトナム出張もますます増えていきそうです。



iPad miniを使う独自の生産管理システム

飯山精器株式会社

代表者 代表取締役社長 寺坂唯史
創業 1944（昭和19）年4月
資本金 1,200万円 従業員数 67人
本社 中野市草間1162-15

TEL.0269-26-7851 FAX.0269-26-7942

事業内容 油圧関連、情報通信関連、OA関連、その他産業機械の精密部品加工

